

中等部便り

2023年度人事

部長	上野 亮
教務主任	浦田 浩
教務委員	浅原 泰子
指導委員	津村 裕一
教育研究委員	朝野 圭三
1年学年主任	関 隆一
2年学年主任	横山 道行
3年学年主任	内田 好美
[新任]	松島 淳 (国語)



切り絵 千輝克忠先生

永眠された先生方(2021年~2022年)ご冥福をお祈りいたします

浅井 義継	永眠2021年3月29日
武田 賢三	永眠2021年6月1日
平田 肇	永眠2022年8月4日
斎藤 美佐子	永眠2022年8月20日

緑窓



青山学院中等部緑窓会会報

2023年5月1日発行

青山学院中等部緑窓会 発行人 伊藤 正道

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25

TEL / FAX : 03-3498-5387

E-mail : ryokusoukai@ceres.ocn.ne.jp

ホームページ : http://www.ryokusou.net/

中等部創立75周年記念式典に寄せて

中等部部长 上野 亮

昨年12月10日(土)、中等部の創立75周年の記念式典を礼拝堂で行いました。当日は、学院をはじめ、日頃からお世話になっている皆さま、生徒・後援会の代表、緑窓会の各期の幹事の皆さまにおいでいただきました。本来であれば、中等部で最も多感な時期を過ごし、中等部の歴史を作り、支えていただいて来た緑窓会の皆さまにも広く出席していただきたいところでしたが、コロナ禍ということもあり、このような形にせざるを得なかったことを、大変残念に思っております。

中等部では2019年、新しい校舎が完成しました。新校舎にはかつての面影は少ないかもしれませんが、しかし外観は変わっても、明るく自由で伸び伸びとした中等部らしさはこれからも変わることなく続いて行くと信じています。コロナ禍が落ち着いた暁には、この新校舎が緑窓会の皆さまと中等部生とが世代を超えて繋がり集える開かれた交流の「場」となることを願っています。



中等部部长 上野亮先生



中等部創立75周年を祝して

中等部緑窓会会長 伊藤 正道(15期)

中等部は1947年、戦後、焦土の中の生活から支えてくださった、大勢の方々が愛と祈りを込めて築いてくださいました。古材を用いて築きあげられた木造2階建て校舎での学びを原点に、二代目コンクリート校舎、そして新たな未来への始まりである新校舎が願いであった礼拝堂とともに誕生、三代目の校舎へと繋ぎ、75周年を迎えました。

青学愛に育まれた中等部時代、先生や仲間と出会えたことに感謝、これからも末永く中等部とともに前進してまいります。

1期生が創設された緑窓会、会員はいまや2万人を超えるほどになりました。緑窓会は引き続き皆さまと先生や友人との絆を深める機会を提供してまいります。

今回75周年を記念し、緑窓会より講壇用の聖書を寄贈させていただくことといたしました。

これからの中等部に益々の発展を祈念申し上げます。75周年、おめでとうございます。



初代中等部校舎(1949~1966年)



二代目中等部校舎(1966~2019年)



「維持会費」納入のお願い及び納入方法

緑窓会は維持会費(2年分3,000円)で運営されています。会費は、期会・クラス会のためのラベル発行費、年一回の会報「緑窓」の製作・発送費、「緑窓の日」実施費用、中等部生に運動会と中等部祭に贈る「緑窓会賞」のマフラータオル代、ジュビリーズ記念品製作費などに使われています。一人でも多くの方のご協力をお願いいたします。詳細は、ホームページをご覧ください。

2022~2023年度 2年分3,000円。振込用紙の入っている方(未納の方)はお振込みください。

【納入方法】

①郵便振替 会報「緑窓」に同封の振込票を使用

②銀行振込 氏名の前にCで始まる会員番号(振込票に記載されています)を必ず付けてください。

銀行	ゆうちょ銀行
店番	019
店名	〇一九(ゼロイチキウ)
口座	当座
番号	0536829
口座名義	青山学院中等部緑窓会

注：銀行振込みの場合は、個人を特定するために、必ず、氏名の前にCで始まる会員番号を付記してください。付記されていない場合、払込みの確認が出来ない場合があります。

2023年度 緑窓会行事予定

2023年	
6月3日(土)	第33回「緑窓会の日」
10月7日(土)	運動会で緑窓会賞(マフラータオル)を贈呈
日時未定	ジュビリーズ記念式典15期・25期・50期対象期の方へは7月頃にハガキを出します
11月11日(土)	中等部祭
12日(日)	中等部祭 グランプリに緑窓会賞(マフラータオル)を贈呈
2024年	
1月2日(火)	箱根駅伝往路応援
3日(水)	箱根駅伝復路応援

緑窓会期幹事になって

卒業後も緑窓会期幹事として引き続き中等部と関わることとをうれしく思います。3年間で育まれた大切な仲間と、お世話になった先生方への感謝の気持ちを忘れず、卒業後も74期と中等部をつなぐサポートを精一杯させていただきます。よろしくお願いいたします。



長いようで短い3年間で、中等部で大切な仲間と過ごせたことを、本当に嬉しく思います。たくさんの思い出と先生方や友達への数え切れない感謝を胸に、これから先も74期の繋がりが続くよう、精一杯務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。



◆重要◆

ホームページ閲覧パスワードの設定

緑窓会「役員会」関連資料のうち、決算収支報告書、重要書類につきましては、セキュリティ強化の観点から閲覧パスワードを設けることにしました。

緑窓会ホームページの「役員会関連」から「緑窓会役員会」をクリックし、画面に従いパスワードryokusou(閲覧パスワードは共通です)を入力の上閲覧をお願いします。

《定例役員会の報告》

2022年5月14日(土)に第1回、12月10日(土)に第2回定例役員会が開催されました。詳細は、ホームページをご覧ください。か、緑窓会室までお問い合わせください。

会長/伊藤正道 副会長/大石由美子・藤野健彦 会計/小平昌邦・西本由里子 監事 崎田克巳・平森均



緑窓会ホームページ

第33回「緑窓会の日」ご挨拶

実行委員長 山本 旨広(33期)



第33回「緑窓会の日」を6月3日(土)に中等部礼拝堂で開催します。私が33期の実行委員長を務め、どのような催しを開催すれば皆さまに楽しんでいただけるかを同期の実行委員と検討いたしました。

第1部の礼拝に続き、第2部はパイプオルガンの演奏を行います。第3部ではドムドムハンバーガーとハルキャビアの成功秘話を2社の代表によるトークショーでお楽しみください。

2019年に完成した中等部礼拝堂での「緑窓会の日」にぜひご参加ください。

卒業生の皆さまにお会いできるのを楽しみにしております。



青谷 充子さん 藤崎 忍さん 金子智樹さん

第33回「緑窓会の日」「食」で世界のサーバントリーダーへ ～ドムドムハンバーガー×ハルキャビアの成功秘話～

日時 2023年6月3日(土) 13:30～16:00 (13:00受付開始)
場所 青山学院中等部礼拝堂
参加費 3,000円 (当日現金でお支払いください)

—プログラム—

- 第1部 礼拝 13:30～14:10 司式・説教：浅原一泰(31期) 青山学院中等部宗教主任
奏楽：青谷充子(33期) 東京藝術大学オルガン科卒業
- 第2部 青谷充子パイプオルガンコンサート 14:10～14:30
〈休憩〉
- 第3部 トークショー 15:00～16:00 司会：岡小百合(33期)
「食」で世界のサーバントリーダーへ
～ドムドムハンバーガー×ハルキャビアの成功秘話～
藤崎(山本)忍(33期) 株式会社ドムドムフードサービス 代表取締役社長
金子智樹(33期) 金子コード株式会社 代表取締役社長

【重要】開催については、新型コロナウイルス感染拡大の状況などから中止させていただく場合がございます。中止が決定した際は、直ちにホームページで告知いたしますので、確認の上ご参加ください。

～緑窓会の一年～ 2022年度

第32回「緑窓会の日」報告

32期 実行委員

5月28日(土)第32回「緑窓会の日」を32期のメンバーにより中等部礼拝堂にて、3年振りに開催することができました。第一部の礼拝は堀川理万子さん制作のステンドグラスが見守る中、オルガニスト 廣江理枝さんによる天から降り注ぐ神の息吹のような奏楽、奉獻、また北川正弥牧師の説教によりヤコブのように真摯な祈りを捧げること、信仰の継承について教えられました。第二部は翠英美子さんの司会によるトークショー。三味線、杵屋正園(古茂田健二)さんの長唄「岸の柳」の解説と演奏で古典の世界に私達を誘い、その後は中村芝翫(中村幸二)さん、常磐津文字兵衛(鈴木淳雄・28期)さん、常磐津兼太夫(鈴木雅雄・30期)さんによる長唄と常磐津の三味線の歴史や違い、浄瑠璃の解説、演出方法のお話、常磐津三味線「荒野の果てに」の演奏に魅了され、最後は芝翫さんの舞踊、常磐津「老松」で幕を閉じました。古典芸能を継承している同窓生の活躍を見て、日本文化を大切に守りたいと感じ、神様に感謝してご報告いたします。



10月8日(土) 運動会 1D,2D,3Aのクラスに緑窓会賞(マフラータオル)を贈呈

11月5日(土) ジュビリー記念式典 14期(ダイヤモンド)・24期(ゴールデン)・49期(シルバー)記念の盾とマフラータオルを贈呈

◆ ゴールデンジュビリーを受賞して

24期 佐藤 久美子

中等部卒業後50年の節目でゴールデンジュビリーの式典にお招きいただきありがとうございました。24期は64名が参加し、新校舎の礼拝堂で行われた式典で、久しぶりの礼拝、皆で歌った讃美歌に当時を懐かしく思い出した人も多かったと思います。同期相良昌彦牧師の礼拝では青山学院のスクールカラーがなぜ緑なのかを知り、同期窪田(工藤)寿子さんのヴァイオリン記念演奏を聴いて、中等部時代に思い馳せ、今後の人生に大きな活力を与えられ、思わず目頭が熱くなりました。また、14期大木貞子さんのいつまでも前向きに人生を歩まれている姿に青山学院で過ごした日々が原点にあることを知り、感動いたしました。卒業後半世紀を迎えた私達ですが、私達の人生においても青山学院での日々が大きな影響をもたらしていることを再認識する機会を与えていただいたことに感謝しております。10年後のダイヤモンドジュビリー式典にも多くの24期生が集えまことを祈念しております。

11月6日(土) 中等部祭 2Hのクラスに特別賞としてマフラータオルを贈呈

2023年1月2日(月) 3日(火) 箱根駅伝 それぞれの自宅のTVで応援 総合3位入賞



私も緑窓会員です ⑪

しもがき まゆみ
霜垣 真由美さん (56期)

…霜垣さんは、大学時代に初めて応援団の女性の団長として活躍された方ですね。青山学院は、どちらからですか。

中等部からです。1年は小田先生、2年は浦田先生、3年は金子先生でした。体操部だったので、干輝先生にもお世話になりました。小学校で器械体操をやっていた跳馬が得意でしたが、中等部にはなかったのでマット運動をやりました。

…高等部も体操部でしたか。

高等部では平野先生に勧められて柔道部に入りました。私は絵を描くのも好きで、美術部にしようかと思っていたのですが、先生に「体験してみたら？」と柔道着を着せられて、そのまま入部しました(笑)。元気な男子がいて、何か楽しそうでした。

柔道は初心者でしたが、試合にも出ました。他校は経験者が多く、強くて、私はヒイヒイ言いながらやっていました。

…大学の学部はどちらでしたか。

青山学院大学総合文化政策学部の1期生でした。教授との距離が近くて、今でもつながりがあるような感じです。



…なぜ応援団に入部されたのですか。

杉浦教授が応援団の顧問で、「応援団、人が少ないからちょっと行ってきて」と言われて入部しました。女子は4年生にマネージャー一人いただけでした。応援団は振り付けなども覚えなければいけないので、反復練習ばかりでしたが、1年下の部員が新曲を入れたいと、サザンオールスターズの「勝手にシンドバッド」を野球部の応援でやりました。応援は楽しく、頑張りました。

…女性はチャリーディングというイメージがありますが。

そうですね。でも私は体操をしていた頃からしなやかな動きよりビシッとした動きが好きだったので抵抗はありませんでした。むしろOB会の方々が私をどう扱ったら良いか迷われたようです。学ランにも抵抗は無かったのですが、コスプレにならないように普通のものにしました。私がいた頃、応援団は野球部と箱根駅伝の応援だけでした。

…団長になられた経緯は？

下の学年に3人男性部員がいましたが、「団長は霜垣さんでしょ」と言われて引き受けました。団長というのは肩書だけで、やっていることは皆と同じでした。私の頃から、人懐っこい団長になりましたね。

応援していて選手に声が聞こえているのかと不安でしたが、終わった後、声が聞こえたと言われて嬉しかったです。応援の台に乗った時、野球部員から「待ってました女帝！」と言われるようになったのも面白かったです。青学ではのびのび成長できた気がします。

…就職はどのように考えていらっしゃいましたか。

ほんやり舞台とか芝居に関わる仕事がしたいと思っていました。卒業後俳優の専門学校に2年間通い、その後劇団NLTという文学座から生まれた劇団の研究生をやりました。1～2年目の研究生は芝居に出られることは殆ど無く裏方でした。バイトもしなければならぬ状況でした。劇団の仕事はないかと社長に相談し、制作を勧められてこの道に入りました。舞台監督の助手もしました。一昨年、ようやく俳優座の正社員になれました。役者の勉強をしたので、役者はこう動くものだと知っていて良かったと思いました。今はキャストや演出は誰にするか、スタッフのスケジュール調整、チラシの発注、デザイナーの人選など、ああだこうだ言いながらやっています。スタッフさんが明るいので凄く楽しいです。

…これからの夢は？

先日、こども劇場での公演後、高校生主体で中高生の集いがありました。小・中・高校生は集中力が凄く、芝居の見方や発想とか私達が気づかない所を見ていて、感じるエネルギーが違うと思いました。今は劇団の芝居を見に行く若い人が減っているので、どんどん見に行きたいと思っています。それが夢かな。

[インタビュー 大石由美子(22期) 濱中浩子(20期)]



青学ではのびのび成長できました

霜垣 真由美さん プロフィール

2002年青山学院中等部入学。
2012年青山学院大学総合文化政策学部卒業。専門学校TVA俳優専攻に2年間通学後、劇団NLTに研究生として所属。舞台監督助手を経て、2021年11月より劇団俳優座演劇制作部に所属。
2023年度、劇団俳優座と青山学院大学総合文化政策学部学生による「ラボ・アトリエ実習」を企画実行、劇団俳優座から新劇を発信することを目標に日々勉強中。



俳優座受付業務中

劇団俳優座6月公演『この夜は終わらぬ。』